

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月12日

事業所名：かやま保育園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	② 職員の配置数は適切である	7			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・視覚支援を活用して、わかりやすく伝える工夫をしている 個々に必要な視覚支援を行っている ・構造化については、不足の部分もあると思うが、個々の特性に対応できるように努めている	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・毎日2回清掃をしている ・子どもたちが、よく触れる所などは、念入りに掃除をしたり、危険のないように遊具や玩具の位置などに気をつけている	コロナ禍であり、施設内の消毒衛生に努めました
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	・一年単位での取り組みであり、フラッシュアップされるスピードは遅いと思う	園内研修の内容をさらに高めていきます
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		外部評価については、今後検討していきます
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・施設研修が学びになっている ・オンライン研修に参加した ・コロナ禍においても、リモート研修など工夫している ・今後も、様々な情報や知識を身につけられるように、勉強会などに積極的に参加していきたいと思う	オンライン・リモートで研修が受けられるので積極的に研修機会を確保していきます
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		遠城寺発達検査を使用している	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・ガイドラインに沿って計画していますが、さらに踏み込んで個々の特性、興味、家庭での過ごし方などを保護者との相談の中から設定するように努めています	ガイドラインは、随時職員間で確認していきます 児童発達支援ガイドラインをよく読み、内容を常に把握できるようにしていきます
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員同士で話し合い活動を決めている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・利用児に合わせて活動内容を変えている ・都度話し合いながら進めている ・その時期、季節ならではのあそびも取り入れている ・コロナ禍で活動が制限され大変だった。	個々の興味や発達に考慮しながら、楽しく季節感のある活動を計画していきます
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	7			小集団活動では、参加メンバーを考慮した活動を計画実行しました
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・支援開始前に内容や担当の打ち合わせをしている ・前日又は当日、確認を行っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		毎日カンファレンスの時間を確保し、その日の子どもの振り返りや情報共有を行っている	日々のカンファレンスは、支援の充実と共に職員の資質向上にもつながっています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			子育て支援センター会議などに参画しています 今後とも連携していきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		現在は、該当児なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		現在は、該当児なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・園訪問をしたり、電話連絡などで情報共有を行った ・移行時には、情報提供資料を作成したり、電話連絡などしている	園の先生に来園してもらい、事業所での姿を見ていただいたり、保護者と情報共有ができるような支援も行っています
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			児童発達支援事業所として、必要な情報を発信していきます
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		児童発達支援センターへ実地研修へ行き支援方法等を学んだり、交流研修を行ったりした	これからも積極的な人事交流や合同研修を行っていきます
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7		・週2日、併設かやま保育園と交流している ・交流保育の他、行事にも参加し交流をはかっている	保育園併設の施設である特徴をいかしていきたいと思います
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2			施設長が会議に出席し、研修会の開催などに向けて役割を果たしています
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		子どもの姿を保護者と一緒に共有しながら、成長した部分、できること、苦手なこと等確認し、保護者と一緒に支援方法を考えた	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7			

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		運営規程等については、利用開始時に説明しています。年度替わり等継続利用希望がある時には、再度説明を行って行きます
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		ガイドラインに基づき作成した「個別支援計画」を提示しながら説明を行い、同意を得ています
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	保護者と話をし、子どもの様子・悩み等聞き、それをふまえて支援方法を一緒に考えている	親子療育の利点を生かし、随時保護者の相談に応じていきます
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	保護者の交流時間として「お茶タイム」を設けている	保護者会の円滑な運営のために、支援・助言を行っています
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	ぱんだたより、〇〇新聞（主任だより）、歩みのだより等発信している	利用者に向けては、定期的な便りを通して予定や連絡を発信しています
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1 コロナ禍のため、各事業が中止になった	かやま保育園の行事を通して、地域への発信を行っていますが、今年度は、様々な活動に対しての制限が多く残念でした
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		かやま保育園での事例を共有していましたが、事業所内でのヒヤリハット事例も検証していきたいと思います
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待の防止と対応についての手引きに沿って研修を行っています
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	身体拘束を行う必要は、今のところありません。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。